

事務の管理及び執行状況  
の点検・評価実施報告書  
(平成29年度実績)

平成31年2月  
由利本荘市教育委員会

## 目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	(1) 会議の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	
	(3) 計画の策定状況	
	(4) 市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	6
	<b>【学校教育部門】</b>	
	(1) 確かな学力の形成	6
	(2) 開かれた学校づくり	8
	<b>【社会教育部門】</b>	
	(1) 読書の大切さの啓発と読書活動の推進	9
	(2) 生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	10
	(3) 社会教育施設の管理運営	12
	<b>【スポーツ振興部門】</b>	
	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	13
	(2) 指導者の養成	14
	(3) スポーツ施設の整備充実	15
	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携による スポーツ振興	16
	<b>【文化振興部門】</b>	
	(1) 芸術文化の振興	17
	(2) 文化財保護活動の推進	19
	<b>【教育環境整備部門】</b>	
	(1) 学校環境適正化の推進	20
	(2) 学校施設の整備	22

## 1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

### <参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に関する事務（同条第4項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、「由利本荘市の教育」に掲げる施策を13項目16事業に集約し、実施しております。

## 3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合会副会長の鈴木和雄氏にご意見をいただいております。

#### 4. 教育委員会の活動状況

##### (1) 会議の開催状況

期 日	付 議 案 件	
H29. 4. 28 (定例会)	議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 報 告	由利本荘市B&G海洋センター条例の一部改正について 由利本荘市B&G海洋センター条例施行規則の一部改正について 由利本荘市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 由利本荘市教育委員会事務委任規則の一部改正について 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 由利本荘市資料館協議会委員の委嘱について ・西目幼稚園民営化計画について ・北部学校給食センターの整備計画について ・チャレンジデー2017について ・全国市町村交流レガッタ由利本荘大会について
H29. 5. 30 (定例会)	議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 報 告	由利本荘市教育委員会教育長の職務代理者の職務の委任に関する規則の制定について 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について 由利本荘市図書館協議会委員の委嘱について 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 由利本荘市文化財保護審議会委員の委嘱について 由利本荘市民俗芸能伝承館運営協議会委員の委嘱について ・西目幼稚園民営化の進捗状況について ・由利本荘市スポーツボランティア制度運営要綱の制定について
H29. 6. 29 (定例会)	議 案 報 告	な し ・北部学校給食センター基本設計について ・岩城小学校プールについて ・平成29年度国民体育大会東北ブロック大会第44回東北総合体育大会について
H29. 6. 30 (臨時会)	指名報告	教育長職務代理者の指名について
H29. 7. 3 (協議会)	協 議	本荘東中学校1年男子の救急搬送について
H29. 7. 4 (協議会)	協 議	本荘東中学校1年男子の救急搬送について

H29. 7. 18 (定例会)	議案 報告	なし ・指定管理者制度の導入について（スポーツ施設 文化施設） ・矢島小学校改築計画策定に伴う保護者アンケートについて ・西目幼稚園民営化の進捗状況について ・新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクトについて ・教育委員の学校訪問について ・全国市町村交流レガッタ由利本荘大会について ・東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会について ・北前船寄港地フォーラムin岡山について ・市主催芸術公演事業（川井郁子ヴァイオリンコンサート）について
H29. 9. 28 (定例会)	議案第 28 号 議案第 29 号 議案第 30 号 報告	由利本荘市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について 小学校教科用図書採択について 由利本荘市指定文化財の指定解除について ・西目幼稚園民営化に向けた今後のスケジュールについて ・岩城小学校プールの改修について ・生涯学習課事業報告について ・全国市町村交流レガッタ由利本荘大会について ・「旧大倉沢報徳館」国有形文化財登録意見具申について
H29. 9. 28 (協議会)	協議	旧大琴小学校跡地の利活用提言書について 学校環境適正化について（状況報告）
H29. 10. 23 (総合教育 会議)		(1) 平成 29 年度の主要事業について (2) 市内小中学校の状況について (3) 学校環境適正化について (4) 北部学校給食センターの建設について (5) 「スポーツ立市」の推進について (6) 歴史文化拠点施設の整備構想について
H29. 10. 26 (定例会)	議案第 31 号 報告	公の施設の指定管理者の指定について ・岩城小学校プール改修工事について ・全市の全国学力・学習状況調査結果概要について ・第 14 回科学フェスティバルについて ・平成 29 年度由利本荘市「学ぶんスペース」について
H29. 11. 20 (定例会)	議案第 32 号 議案第 33 号 議案第 34 号 議案第 35 号 報告	由利本荘市立学校設置条例の一部改正について 由利本荘市立幼稚園保育料徴収条例等を廃止する条例について 由利本荘市立幼稚園管理規則等を廃止する規則について 平成 30 年度由利本荘市立小・中学校教職員の人事異動方針について ・西目幼稚園民営化の進捗状況について ・「本荘地域学校環境を考えるつどい」について ・「旧大倉沢報徳館」の国登録答申について ・由利本荘市成人式について

H29. 12. 7 (臨時会)	議案第 3 6 号	教職員の状況について
H29. 12. 25 (定例会)	議案第 3 7 号 報 告	公の施設の指定管理者の指定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部学校給食センターの建設について</li> <li>・ 歴史資料の収蔵と空き校舎活用計画について</li> <li>・ 矢島小学校改築計画等について</li> <li>・ 学校検診情報のデータベース化とその利活用について</li> <li>・ 由利本荘市成人式について</li> <li>・ 北前船寄港地 日本遺産追加認定の申請について</li> </ul>
H30. 1. 30 (定例会)	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 報 告	由利本荘市佐藤憲一顕彰教育支援基金条例の制定について 由利本荘市学習センター条例の一部改正について 財産の無償譲渡について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西目幼稚園民営化進捗状況について</li> <li>・ 「本荘地域学校環境を考えるつどい」について</li> <li>・ 「石沢地域学校環境を考えるつどい」について</li> <li>・ 「矢島地域学校環境を考えるつどい」について</li> <li>・ 通学路安全推進会議について</li> <li>・ 由利本荘市いじめ問題対策連絡協議会について</li> </ul>
H30. 2. 26 (定例会)	議案第 4 号 議案第 5 号  議案第 6 号 報 告	北部学校給食センターの建設地の決定について 事務の管理及び執行状況の点検・評価実施報告書〈平成 2 8 年度実績〉(案) について 平成 2 9 年度末由利本荘市立小中学校教職員の人事異動について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 2 9 年度由利本荘市中学生会議について</li> <li>・ 平成 2 9 年度卒業(園)式について</li> <li>・ 由利本荘市文化交流館店舗出店者の選定について</li> <li>・ 平成 2 9 年度中央図書館事業実績等について</li> </ul>
H30. 3. 27 (定例会)	議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 協 議  報 告	平成30年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 平成30年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 平成30年度「由利本荘市の教育」について 平成30年度教育費予算について 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次由利本荘市学校環境適正化検討委員会の第一次提言について</li> <li>・ 西目地域幼保一体施設建設候補地について</li> <li>・ 西目幼稚園民営化進捗状況について</li> <li>・ 本市の全国学力・学習状況調査結果について</li> <li>・ チャレンジデー 2 0 1 8 について</li> </ul>

(2) 教育委員の活動状況

① 学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月16日	鳥海小・鳥海中	11月6日	尾崎小
6月19日	小友小	11月14日	新山小
6月20日	東由利小・東由利中	11月15日	石沢小
6月22日	矢島小	11月16日	岩城小・岩城中
6月23日	大内小	11月21日	岩谷小・大内中
6月26日	新山小	11月22日	鶴舞小
6月27日	岩谷小	11月24日	本荘南中
6月29日	石沢小	11月28日	本荘東中
7月3日	尾崎小・本荘北中	11月30日	本荘北中
7月4日	西目小		
7月5日	子吉小・本荘南中		
7月6日	岩城小・岩城中		
7月7日	鶴舞小・由利中		
7月10日	矢島中		
7月11日	由利小		
7月12日	西目幼稚園・西目中		
7月13日	本荘東中		
7月20日	大内中		

② 諸会議・研修等 【教育長・教育委員】

月 日	会 議 名 等	場 所	出席者
4月20日～21日	東北都市教育長協議会定期総会	福島市/福島グリーンパレス	教育長
5月17日～21日	第69回全国都市教育長協議会定期総会	奈良市/なら100年会館	教育長
5月25日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県庁 正庁	教育長
7月14日	東北六都市町村教育委員会連合会 教育委員・教育長研修会	秋田市/キャッスルホテル	教育委員
9月8日	秋田県市町村教育委員会連合会及び 秋田県都市教育長協議会合同研修会	秋田市役所	教育長
11月7日～8日	B&G全国教育長会議	港区赤坂/日本財団ビル	教育長
11月10日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県庁 正庁	教育長/委員
1月24日～25日	B&G全国サミット	港区三田/笹川記念会館	市長/教育長

(3) 計画の策定状況

- 「第3次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画〈平成27～31年度〉」平成27年3月策定
- 「由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱〈平成27～31年度〉」平成27年11月策定
- 「由利本荘市スポーツ振興計画〈平成28～36年度〉」平成28年9月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

		分野	学校教育部門
項目	(1)確かな学力の形成	担当課	学校教育課
<b>点検・評価対象事業名</b>		①由利本荘市教職員研修会	
<b>事業の目的</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会の変化の主な動向等に着眼しつつ、今後求められる資質や能力を効果的に育成する観点から指導の充実を図る。</li> <li>○ 生きる力をはぐくむことを目指し、言語活動の充実、体験型理数教育の推進、グローバル人材の育成等、主体的に学習に取り組む態度を養う指導の在り方について研修を深める。</li> </ul>	
<b>事業の実施状況</b>		○ 春季教職員研修会      ○ 夏季教職員研修会      ○ 冬季教職員研修会	
<b>点検及び説明</b>	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春季教職員研修会（4月13日） <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに当たり、市内小・中学校の全職員が一堂に会し、本市の教育方針及び教育施策等について共通理解を図るため、教育長より本年度の本市教育の重点が示された。</li> <li>・新規採用教諭及び養護教諭、他地区からの転入職員、ALTを参会者に紹介し、歓迎した。</li> <li>・教育総務課、生涯学習課、文化課、スポーツ課並びに学校教育課の各課長より、各課の方針及び事業について説明した。</li> </ul> </li> <li>○ 夏季教職員研修会（8月9日）※台風5号接近のため急遽中止 <ul style="list-style-type: none"> <li>・にかほ市と合同で「発達障害児の理解と支援～自己肯定感の低下に配慮したかわり～」と題し、秋田県立ゆり支援学校教育専門監 宮野俊実氏より御講話いただく予定だった。（平成30年度の冬季研修会で実施予定）</li> <li>・平成30年度から、小学校において「特別の教科 道徳」が実施されることを踏まえ、道徳に関する講演も予定していたが中止となったため、1月の冬季研修会で実施した。</li> </ul> </li> <li>○ 冬季教職員研修会（1月11日） <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前は、教育長講話、市教委担当からの「諸調査の結果について」の説明に続き、NPO法人からだところの発見塾理事・鈴木誠二氏を講師に迎え、「いのちについて考える道徳教育」と題し御講演いただいた。</li> <li>・午後は、初の取組となる「学ぶんフォーラム」を開催した。これは、市内の小・中学生の学習・研究等の成果を教職員及び市民に向けて広く発信することをねらいとするものである。日本学生科学賞を受賞した大内中学校・西目中学校の科学部、ハンガリー友好交流や箕面市中学生交流に参加した生徒等が堂々と発表する姿は、教職員のみならず一般参加者にも感銘を与えた。</li> </ul> </li> </ul>			
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教職員の多忙化解消に配慮しながら、今後も「参加する教職員にとって必要感があり、かつ実効性のある研修への転換」を図っていく必要を感じている。2020年度からの小学校学習指導要領完全実施に向けて、教職員一人一人の研修意欲を維持することができるよう、研修内容を精選し、更なる充実に向けていく。</li> </ul>			
<b>学識経験者の意見</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学ぶんフォーラム」は非常に好評であり、小・中学生の意欲が感じられた。これからも続けて開催してほしい。この取組を高く評価する。</li> <li>○教職員が一同に集まり、教育長が指針を述べる機会を持つことは、方針を共有し、共通理解を図る上で非常に大切である。</li> <li>○「ハンガリー友好交流」や「箕面市中学生交流」の体験や成果をもっと広く紹介する工夫をお願いしたい。</li> <li>○「つながる」をキーワードに、教職員間、児童・生徒間、学校間の交流をより深めてほしい。</li> </ul>			



		分 野	学校教育部門
項 目	(1)確かな学力の形成	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	②特別支援教育及び就学前教育等への支援		
事業の目的	<p>○早期からの検診、教育相談体制を整備し、保護者や子どもに寄りそった支援を継続していくことで「0歳から就労まで」の切れ目ない支援体制を構築する。</p> <p>○健康福祉部三課（子育て支援、健康管理、福祉支援）と連携し、保護者や子どもの実態に合わせた支援を行う。</p>		
事業の実施状況	<p>○5歳児健康相談の実施</p> <p>○幼保コーディネーター研修会の開催</p> <p>○就学支援員、学校間連携コーディネーターの配置</p> <p>○学校生活サポートの配置</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
○5歳児健康相談	<p>健康管理課、子育て支援課との連携により市内すべての幼児を対象に健康相談を実施し、保護者学習会や個別の相談を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師、保育士による発達検査や遊びの様子を観察</li> <li>・子育て、就学に関わる保護者学習会、アンケートを実施</li> <li>・臨床心理士、教育専門監等による個別の相談を実施</li> </ul>		
○就学支援員、学校間連携コーディネーターの配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所から小学校への就学をスムーズに行うために就学支援員を配置し、園での情報を小学校へ引き継ぐとともに、幼児通級指導教室（さくら教室）を開催して個別の指導を実施した。</li> <li>・小学校から中学校、中学校から高校への引き継ぎを着実にを行うため学校間連携コーディネーターを配置し、引き継ぎシートを活用した引き継ぎを実施した。</li> </ul>		
○幼保コーディネーター研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回、幼稚園・こども園、保育所の先生方を対象に特別支援コーディネーター養成研修会を実施し、障がいをもつ子どもの特性や関わり方、保護者への支援のあり方について、ゆり支援学校教育専門監や県の指導主事の指導を受けた。</li> </ul>		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○5歳児健康相談は、早期からの支援に大変有効であるので、各課との連携のもと今後も継続して実施していく。</p> <p>○就学支援員、学校間連携コーディネーターの配置により就学が円滑に進む状況が見えたので、各園、学校に活動の周知を図り、活動を広げていく。</p> <p>○園での障がい理解が進んだことで、発達障害等の子どもについて、早期からの相談に結び付くケースが増えてきているので、今後も継続して幼保コーディネーター研修会を実施し、支援体制を強化していく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○就学支援員や学校間コーディネーターの配置は、対象者が増えてきている状況において非常に大切な取組である。大いに評価したい。そして今後もよりきめ細かい支援をお願いしたい。</p> <p>○就学支援員、学校間コーディネーターの果たしている役割はとても大きい。子どもを小学校へ引き継ぐ、また中学校へ引き継ぐ際のきめ細かい取組が、子どもへの継続的な支援に繋がっている。とても大切な役割であるので、今後も引き続き支援をお願いしたい。</p>		

		<b>分 野</b>	学校教育部門
<b>項 目</b>	(2)開かれた学校づくり	<b>担 当 課</b>	学校教育課
<b>点検・評価対象事業名</b>		コミュニティ・スクール	
<b>事業の目的</b>			
○学校経営に地域の願いを大きく取り入れ、学校運営の方針について学校運営協議会の承認を得るとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互連携し、学校経営の改善への協力を促進し、学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校づくりに資する。			
<b>事業の実施状況</b>			
○各小・中学校の「学校運営協議会」及び中学校区ごとの「地域運営協議会」の定期的な開催			
○各学校運営協議会での学校における具体的な目標の検討			
○目標と具体的方策の周知			
○各学校における自己評価			
○学校運営協議会による評価の実施			
○結果の公表			
<b>点 検 評 価</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る	<input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり
<b>及 び 説 明</b>		<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
○本市は「すべての子どもが夢と志をもち、実現に向けて笑顔で生き生き輝く姿に」を目指して、平成27年度よりすべての小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域住民が参画する学校づくり、学校力を生かした地域づくりに向けて取り組んでいる。学校運営協議会では、地域住民の立場から学校運営を評価するとともに、ふるさとの未来を託せる人材の育成に向けて、学校とともに企画・立案している。			
○具体的な目標、方策、評価、改善点等が、地域や保護者に公表されることで、地域に根ざした教育活動の推進につながっている。			
○年間3回開催の「市コミュニティ・スクール連絡協議会」では、各地域運営協議会、県立学校等の取組についての実践報告や、県立大学の鳴崎真仁准教授による熟議につながる講話など、次の実践につながる内容を研修することができた。			
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>			
「市コミュニティ・スクール連絡協議会」を通して学んだことをそれぞれの「地域運営協議会」及び「学校運営協議会」に生かし、より一層機能させて地域とともにある学校づくりを更に充実させる。			
方向性：「市の未来を託せる人材の育成」に向けた学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のさらなる充実を図る			
①関係機関との協働による市の未来を託す人材の育成プログラムの推進			
②学校・家庭・地域の課題解決に向けたコミュニティ・スクールの推進			
③ふるさと教育に基づいたキャリア教育の推進			
<b>学識経験者の意見</b>			
○秋田型評価システムが定着しているからこそ、全体的にうまく進んでいると思う。CS連絡協議会も定着し、学校間の連携や地域との関係も深まってきている。この連携と関係が、学力の向上に繋がっているものと高く評価したい。			
○様々な人が運営協議会等に関わり、より多くの人交流を深めてCS推進に努めるとともに、CS推進に関する新しい意見やアイデアが寄せられるよう、機会の拡充にも努めていただきたい。今後の更なるCS推進に期待したい。			

		分 野	社会教育部門
項 目	(1) 読書の大切さの啓発と読書活動の推進	担 当 課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		子どもの読書活動推進事業	
事業の目的		<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。 「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>	
事業の実施状況		<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年5月19日 企画部会</li> <li>・平成29年6月5日 第1回子ども読書活動推進会議</li> <li>・平成29年6月29日 研修部会</li> <li>・平成29年10月12日 ボランティア部会</li> <li>・平成29年11月10日 広報部会</li> <li>・平成30年2月22日 子ども読書活動推進会議年度末会議</li> </ul> <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年7月25日 読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会</li> <li>・平成29年10月21日 おはなしフェスティバル開催</li> <li>・平成30年2月22日 「心にとどけスマイル便第11号」発行 「スマイルひろがり便第2号」発行</li> </ul> <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月24日 上川大内保育園 9月7日 子吉保育園 9月14日 子吉放課後児童クラブ</li> <li>9月29日 風の子保育園 10月2日 中央保育園 10月27日 本荘保育園</li> <li>10月30日 若草幼稚園・保育園 11月2日 内越保育園 11月10日 矢島保育園</li> <li>11月14日 石沢保育園 11月15日 小友保育園 11月28日 石脇北保育園</li> <li>12月5日 石脇西保育園 12月6日 石脇東保育園 12月12日 石脇西保育園</li> <li>12月13日 本荘保育園 12月22日 風の子保育園</li> </ul> </li> <li>・平成30年 <ul style="list-style-type: none"> <li>1月11日 ゆり保育園</li> </ul> </li> </ul>	
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○各部会の活動は積極的になされており、成果もあがっている。 ○岩城小学校を会場に、「読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会」を開催した。参加者は41名で、とても有意義な研修会を開催することができた。 ○保護者向けチラシ「心にとどけスマイル便第11号」と共に、子どもの読書活動推進会議広報誌として「スマイルひろがり便第2号」を発行した。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性		<p>○推進会議全体の方向性や将来の構想、改善点などについての協議が少ないとの反省から、会長と各部の部長等で構成する企画部会を設けた。 ○「おはなしフェスティバル」をボランティア部会が担当し、「読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会」を研修部会が担当することとした。このことで、各部が責任をもって、主体的に仕事をすることができるようになった。</p>	
学識経験者の意見		<p>○ボランティア派遣の回数が非常に多く、高く評価したい。子どもの読書活動は非常に大切なものである。今後も是非続けてほしい。 ○非常に良い事業である。小学生・中学生による読み聞かせの機会についても検討してはどうか。今後も続けて頂きたい良い事業である。</p>	

		分野	社会教育部門
項目	(2)生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	学社連携・融合の推進事業		
事業の目的	<p>○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>○【継続事業】放課後子ども教室（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。</li> <li>・市内小学校14校（14教室）で通年開設。</li> <li>・延べ開催回数 1,239回、延べ参加児童数 44,689人、延べスタッフ数 4,079人</li> <li>・事業費総額 6,475千円</li> </ul> <p>○【平成29年度限り】放課後子ども教室整備事業（文部科学省補助事業：国全額負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブと一体型で実施している放課後子ども教室（6教室）にICT機器（タブレット端末i-Pad PRO32G×73台）、その他備品を整備。</li> <li>・機器整備教室（6教室・新山小、鶴舞小、尾崎小、小友小、石沢小、大内小）</li> <li>・事業費総額 11,897千円</li> </ul> <p>○【継続事業】学校支援活動（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。</li> <li>・中学校単位で10本部を設置し、市全小中学校（小学校14校、中学校10校）が対象。</li> <li>・活動時間数 1,367時間、延べボランティア人数 6,838人</li> <li>・事業費総額 1,518千円</li> </ul> <p>○【新規事業】地域未来塾（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や大学生の協力による無料学習支援の場づくり。</li> <li>・市内全中学校生徒（中学校10校）を対象。</li> <li>・活動日数 29日、延べ参加生徒数 456人</li> <li>・事業費総額 495千円</li> </ul>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る                      ■ ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる            □ 目標を大幅に下まわる		
	<p>○放課後子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補助事業を活用し、6教室にタブレット端末を整備した。効果や課題については今後アンケート等で随時検証していく。</li> </ul> <p>○学校支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習環境整備・学校行事等を支援した。認知度も高くなっている。</li> </ul> <p>○地域未来塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎学力の定着」、「学ぶ喜びの醸成」など様々な喜びのある「学び舎」を目指した。事後アンケートでは「定期的な開催」、「指導者の配置」が特に好評であり、評価が高い事業となった。</li> </ul>		

<p><b>今後の課題及び 改善策・方向性</b></p>	<p>○放課後子ども教室 ・地域により活動時間、内容の差がある。また、スタッフの高齢化等による後継者不足が進んでいる。H30年度以降は地域人材の確保と育成が課題である。</p> <p>○学校支援活動 ・各校の事業数が減少している。コミュニティ・スクールとのより一層の連携が重要。多数の地域住民に参画いただくため、住民意識の醸成、意欲ある活動者の確保が必要となる。</p> <p>○地域未来塾 ・全地域での活動を進めるため、参加がなかった地域（矢島、鳥海、東由利）に対する対応（広報宣伝等）が必要。現在会場をカダーレとしているが、各地域での出張教室も考えていく必要がある。</p>
<p><b>学識経験者の意見</b></p>	<p>○学習者を抽選するほど人気のある「地域未来塾」。非常に嬉しい。素晴らしい事業なので、各地域での開催についても検討しながら、これからも継続して頂きたい。</p> <p>○「放課後子供教室」の活動時間が学校によって異なっている。また保護者の迎え時間の関係からか、活動時間などに工夫を求める声も一部である。スタッフの協力と理解を得て、様々な工夫をしながら引き続き努力していただきたい。非常に良い事業である。</p>

		<b>分野</b>	社会教育部門
<b>項目</b>	(3)社会教育施設の管理運営	<b>担当課</b>	生涯学習課
<b>点検・評価対象事業名</b>	社会教育関係施設の整備事業		
<b>事業の目的</b>	<p>○市民にとって身近な公民館等、社会教育活動の拠点施設の維持管理と整備を図り、施設の利用促進に努める。</p>		
<b>事業の実施状況</b>	<p>○日新館屋外消火栓用自家発電機取替修繕事業(発電装置一式) 8,856千円  ○鮎川学習センター老朽化改修事業(土台、暗渠、側溝改修工事) 4,494千円  ○西目公民館大規模改修事業(舞台装置改修及び音響設備) 10,908千円  ○紫水館空調機器改修事業(多目的ホール、玄関ホール等空調機器更新) 30,626千円  ○ポートプラザ施設整備事業(子吉川ポートコースの整備等) 6,849千円  ○文化交流館管理運営費(カダーレ指定管理料、修繕料等) 173,539千円  ○上記のほか、修繕多数実施。</p>		
<b>点検評価及び説明</b>	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○老朽化した社会教育施設の補修・改修等を実施することにより、利用者の安全と快適性の確保など、利用者サービスの向上に資することができた。</p>		
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>	<p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきたことから、緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。  また、修繕については、年次計画などを策定するなど、複数年度の修繕計画も考えていく。</p>		
<b>学識経験者の意見</b>	<p>○本市には非常に多くの社会教育関係施設がある。予算も厳しい状況にあることから、優先度を把握し、整備する順番を定めて計画的に進めていただきたい。</p> <p>○市の財源は限られている。施設の利用率や利便性を考えながら計画的に進めていただきたい。利用率や老朽度合いによっては、今後施設の削減も行う必要があると考える。</p>		

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	担 当 課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・各種スポーツ教室、スポーツ大会開催事業		
事業の目的	○生涯スポーツとレクリエーション活動の普及のため、全市またはブロック単位で各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ振興を図る。		
事業の実施状況	<p>○チャレンジデーへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対戦相手：福岡県大牟田市 参加者数64,425人、参加率81.0%</li> </ul> <p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域各スポーツ教室 4,912人</li> <li>・スポーツ振興大使スポーツ教室（バレーボール：133人、剣道：140人）</li> <li>・遊泳館水泳教室 年間参加者合計 540人</li> </ul> <p>○市民スポーツ・レクリエーション大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・300歳以上ソフトボール大会：25チーム ・男女混合バレーボール大会：20チーム</li> <li>・ネオホッケー大会：17チーム ・クロスカントリーレース：435人</li> </ul> <p>○地域間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国市町村交流レガッタ大会：129(14)クルー（由利本荘市で開催1,200人参加）</li> <li>・奥羽横断駅伝競走大会：31(1)チーム、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン：34(1)チーム、いわきサンシャインマラソン：10,798(2)人、横荘線メモリーウォーキング：101(50)人、ほか各教育学習課による連携事業の開催</li> </ul>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○スポーツ推進委員や体育協会と連携し各種スポーツ教室の開催により、子供から高齢者までの活動を推進するとともに、競技団体との連携による大会運営等、市民のスポーツ活動の推進に積極的に努めた。		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○各地域で開催されるスポーツ教室や大会等を、複数地域でのブロック開催の検討や、より多くの市民がスポーツに親しめるような環境整備を図る。</p> <p>○全市を対象とした大会が、本荘地域からの参加が中心となっているため、各教育学習課を通じ各地域からの参加を促す。</p>		
学識経験者の意見	<p>○生涯スポーツの振興として、市全体の大きな事業が様々行われていることを高く評価する。今後、各地域、町内会単位での自主的な小規模大会の開催についても、振興が図られるよう努めていく必要があると考える。</p> <p>○「ナイスアリーナ」をもっと市民に身近なものにし、一人でも気軽に利用できるようにするため、PR活動を今後も継続して行って頂きたい。イベントPRも積極的に行われており、評価したい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門
項目	(2) 指導者の養成	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・指導者の養成と資質の向上のための事業		
事業の目的	<p>○体育協会加盟団体においては、各競技の普及・拡大を図るため、競技団体が主体的にジュニア層の育成強化や指導者の養成を行いながら、競技の持続的な発展に結びつける。</p> <p>○スポーツ少年団員を安全かつ適正に指導してもらうため、認定員養成講習会を開催し、指導者の資質の向上を図りながら指導者と保護者が共通した認識のもとで団活動を推進していく体制整備を行う。</p>		
事業の実施状況	<p>○スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 6/24～25 西目会場受講者106名（他会場等年度合計受講者177名） 【由利本荘市・にかほ市スポーツ少年団連絡協議会事業】</p> <p>○スポーツ少年団指導者研修会・安全講習会の開催 参加者26名 11/19 指導者研修会（実技）「元気いっぱい遊ぶ子どもを目指して」 講師：秋田県スポーツ少年団 副本部長 佐々木もと子 氏 安全講習会（実技）「AED講習会」講師：消防本部西目分署 救急救命士 安全講習会（実技）「子供たちの体作りにおける安全講習について」 講師：日体協スポーツリーダー、ストレッチセラピスト 齋藤真弓 氏</p>		
点検評価及び説明	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる</p>		
	<p>○認定員養成講習会を開催し、秋田県スポーツ少年団活動指針を確認するとともに指導者と保護者が共通した認識のもとで、円滑な団活動ができるように推進した。</p> <p>○ジュニア育成における指導現場での救急対応や指導者の役割・コーチングとケガ予防に効果的なストレッチング講習会を実施したことで、指導者の子供たちのケガ防止への意識が向上した。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○継続して認定員養成講習会を実施し、指導者並びに保護者が少年期のスポーツ活動について共通した認識を持った上で、適正な活動を継続していく。</p> <p>○指導者連絡協議会を開催し、活動の指針等の確認を継続して行う。</p> <p>○生涯スポーツ推進のためにも、スポーツ推進委員が研修会等に参加できる環境整備に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○新規取得者への「認定員養成講習会」は、「きちんとした考え、方針」を持ってスポ少活動を進めるうえで、非常に大切なものである。この度の内容は非常に充実しており、高く評価したい。</p> <p>○研修会は、毎年受けている指導者も多く、とても喜ばしく、感謝したい。今後も充実した講習会になるよう努めて頂きたい。</p>		



		<b>分 野</b>	スポーツ振興部門
<b>項 目</b>	(3) スポーツ施設の整備 充実	<b>担 当 課</b>	スポーツ課
<b>点検・評価対象事業名</b>		・既存体育施設の改修整備	
<b>事業の目的</b>		○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。	
<b>事業の実施状況</b>		○本荘地域 5,216千円 鶴舞球場高圧ケーブル更新工事（照明設備用） 6,787千円 本荘プールろ過循環配管更新工事（50mプール用） ○岩城地域 16,056千円 岩城屋内運動場・岩城プール解体工事 ○西目地域 33,087千円 西目カントリーパークサッカー場等改修工事 （管理棟外壁、観客席、シャッター、多目的広場休憩所） ○鳥海地域 5,810千円 鳥海球場内野グラウンド整備（土入れ替え、整正）	
<b>点検評価及び説明</b>		<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
		○経年劣化等により改修や修繕が必要とされていた施設や設備の改修を年次計画で行い安全性と利便性の確保。	
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>		○市内全地域に多数の体育施設があるが、老朽化等により改修や修繕費用が年々増加してきている。一方で交付税の削減により更に財政的に厳しく予算措置が困難になってきているので有効な助成事業等活用しつつ、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。	
<b>学識経験者の意見</b>		○市内にはスポーツ施設が多く、老朽化の進んでいるものもあり、全ての施設を同時に整備するのは今後難しくなると考える。利用率や市民の意見も伺いながら、計画的に整備する一方、施設の絞り込みについても検討していく必要があると考える。 ○体育施設であることから安全性が最優先である。バスケットリングなど、設備の点検をしっかりと行い、安全性重視で管理・運営に努めて頂きたい。計画的な整備に感謝し、高く評価したい。	

		分野	スポーツ振興部門
項目	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・プロスポーツを通じたスポーツ振興事業		
事業の目的	<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことのできる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピッチバナー広告料として50万円を支出し支援。</li> <li>・サッカースクールの開催や地域貢献事業を展開。</li> </ul> <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問やバスケクリニックの開催により、小学生などの子ども達にプロ選手との交流の場を提供。</li> </ul>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○夢を持ちスポーツに取り組む子どもたちが、1ランク上の競技レベルに達するためには、プロ選手との直接交流が刺激になると考えている。また、プロ選手から直接指導を受けることにより、目標設定や競技力向上に繋がる。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○ブラウブリッツ秋田：H26からJ3加入となり、ホームゲーム開催の全てが秋田市会場となった。市内サッカー場での練習会場の提供などチームとの関わり方について関係自治体とともに検討が必要。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：Bリーグホームゲームの由利本荘市での継続開催へ向けて、チームと連携を密にしながら誘致していく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○大変評判の良い事業である。今後も継続して開催して頂きたい。子供にとって、プロ選手とのふれあいはとても有意義なことであり、高く評価したい。</p> <p>○今後もプロスポーツ選手との「ふれあいの場」を継続していただくとともに、併せて「ポートのまち」としての推進にも努めて頂きたい。</p>		

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の振興	担 当 課	文化課
<b>点検・評価対象事業名</b>	① 芸術鑑賞教室		
<b>事業の目的</b>	<p>○市内に在住する児童・生徒に対し、毎年芸術文化の公演等を鑑賞できるよう、その機会の拡大を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>		
<b>事業の実施状況</b>	<p>○開催場所：カダーレ</p> <p>* 小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1,796人  ・開催期日：平成29年8月31日（木）～9月1日（金） 3公演  ・上演作品：ミュージカル「シンドバッドの冒険」</p> <p>* 小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：1,220人  ・開催期日：平成29年9月5日（火） 2公演  ・上演作品：「わんぱく寄席」</p> <p>* 小学校6年生の部（劇団四季 ころの劇場） 参加者数：774人  ・開催期日：平成29年9月29日（金） 1公演  ・上演作品：ミュージカル「嵐の中の子どもたち」</p> <p>* 中学校の部（1～3年生） 参加者数：1,859人  ・開催期日：平成29年9月14日（木）～15日（金） 3公演  ・上演作品：ミュージカル「KINJIRO!～本当は面白い二宮金次郎～」</p>		
<b>点 検 評 価</b>	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	
<b>及 び 説 明</b>	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p> <p>○市内小学校14校、中学校10校の全児童・生徒を対象に鑑賞会を開催。ころの劇場は、平成28年度よりにかほ市の小学校6年生も招待しており、今年度も6校から207名が参加した。今後も継続する。</p> <p>○全校がカダーレに会し、本格的なホールでの鑑賞を経験する機会を設ける。</p>		
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>	○継続開催に努める。		
<b>学識経験者の意見</b>	<p>○子供たちが、一流の芸術に触れる機会を持つことは素晴らしいことである。今後も継続してほしい。大いに評価する。併せて「市民音楽祭」の開催趣旨を大切に、更に充実させるため、もっと多くの学校が参加できるようにできないか、工夫を凝らして頂きたい。</p> <p>○児童数が年々減少している中にあるからこそ、市内同学年の児童が一堂に会することは意義深いことである。さらに、にかほ市の児童を含めて開催することは非常に素晴らしい。高く評価したい。</p>		

			分野		文化振興部門	
項目	(1) 芸術文化の振興			担当課	文化課	
<b>点検・評価対象事業名</b>			②第13回由利本荘美術展			
<b>事業の目的</b>			<p>○様々な分野の芸術文化に出会い、鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○由利本荘圏域の文化向上のため、住民の美術作家または愛好者のレベルアップを図り、圏域住民の芸術作品への関心を高めることを目的に開催する。</p>			
<b>事業の実施状況</b>			<p>○由利本荘美術展</p> <p>・開催場所：カダーレ ギャラリー1+2+3</p> <p>・開催期日：平成30年2月3日（土）～2月7日（水）</p> <p>・出品者数（作品数）：131名  画 28、書道35、工芸32、写真36</p> <p>・期間中入場者数：1,073人</p>			
<b>点検評価及び説明</b>			<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり		<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
			<p>○絵画・書道・工芸・写真の各部門が一堂に会し、由利本荘圏域住民が多様な芸術と出会える機会となった。</p> <p>○各部門からの出品者・作品数は、ほぼ同規模で推移している。</p> <p>○新人の発掘や登用が図られた。</p> <p>○個々の作品の質が高く、総じて展覧会として充実しており、来場者から高評を得た。</p>			
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>			<p>○継続開催に努める。</p> <p>○部門を越えた作家同士の交流の場となることから、地域を拠点に活躍する新たな芸術活動や人材育成が期待できる。</p> <p>○引き続き新人の発掘や登用を図る。</p>			
<b>学識経験者の意見</b>			<p>○芸術的に非常にレベルの高い美術展であり、事業である。二市に跨がる大切な事業であり、これからも継続して行って頂きたい。</p> <p>○部門が固定化していることから、より魅力的な事業になるよう工夫しながら行って頂きたい（例：インパクトを持たせるため、公立美術大と連携して特別なコーナーを設けるなど）。非常に良い事業である。</p>			

		<b>分野</b>	文化振興部門
<b>項目</b>	(2)文化財保護活動の推進	<b>担当課</b>	文化課
<b>点検・評価対象事業名</b>	鳥海山北麓の獅子舞番楽記録作成事業		
<b>事業の目的</b>	本市とにかほ市に跨がる8団体が「鳥海山北麓の獅子舞番楽」として国記録選択されたことから、この8団体を中心に周辺域の獅子舞番楽を広域的に調査し、記録保存することにより将来へ忠実に保存継承できることを目的とする。		
<b>事業の実施状況</b>	<p>4ヵ年事業の3年目にあたる。国・県補助を受けながら、にかほ市と共同で実施(補助事業者は由利本荘市)。文化庁の指導を受けながら文化庁文化審議会第五専門調査会委員の高山茂氏を中心とする調査委員会を設置し、現地調査を実施。</p> <p>調査対象 鳥海山北麓の獅子舞番楽として記録選択されている「坂之下番楽」「屋敷番楽」「濁川獅子舞」ほかににかほ市内の5団体を中心に、二市内に所在する獅子舞番楽。</p> <p>調査期間 平成29年4月5日～平成30年3月30日</p> <p>調査委員会 鳥海山北麓の獅子舞番楽調査委員会設置要綱に基づき、調査委員6名、調査員3名、特別調査員2名、助言者2名、特別協力者1名、調査補助員(調査対象団体)8名、事務局8名により設置</p> <p>成果</p> <p>調査委員会 第1回 H29.6.18 (市民交流学習センター) 調査計画、調査分担、執筆計画</p> <p>第2回 H29.8.16 (カダーレ) 調査状況、情報交換</p> <p>第3回 H30.2.22 (象潟公民館) 調査実績、執筆計画</p> <p>現地調査 延べ69回82人 年度末に調査カード作成</p>		
<b>点検評価及び説明</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
調査委員会で調査分担を明確にし、にかほ市と共同しながら、調査委員や調査対象団体との調整を行い、目標を上回る現地調査を実施することができた。			
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>	調査最終年度となる4年次は、必要に応じ追加の現地調査を行い、委員等やにかほ市と連携しながら報告書編集作を進め、調査報告書を刊行する。		
<b>学識経験者の意見</b>	<p>○本市の歴史を記録することは非常に重要なことであり、後世に伝える記録としても意義のある事業である。この成果を市民のみならず広く公開して知っていただくことも大切であると考えことから、電子版など、報告書以外の手法も併せて検討してみてはどうか。</p> <p>○実際に現地調査されている調査員の方々に感謝したい。大変な作業であるが、努力され、良い成果を残して頂きたい。</p>		

		分野	教育環境整備部門
項目	(1) 学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課
<b>点検・評価対象事業名</b>	学校環境適正化検討委員会		
<b>事業の目的</b>	○少子化や施設の老朽化を踏まえ、小中学校の改築や小学校の再編など、本荘地域を中心とする学校環境の適正化に向け市民等の意見を広く伺い、今後あるべき教育環境のあり方について検討する。		
<b>事業の実施状況</b>	<p>○第7回検討委員会 6月26日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①これまでの経緯について</li> <li>②児童生徒数の推移について</li> <li>③アンケート結果について</li> <li>④今後のスケジュールについて</li> </ul> <p>※任期満了により、委嘱状を交付した。</p> <p>○第8回検討委員会 8月10日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①各学校地域運営協議会について</li> <li>②石沢地域学校環境を考えるつどいについて</li> <li>③矢島小改築に伴う保護者アンケートについて</li> <li>④今後の進め方などについて</li> </ul> <p>※その他、グループ討議、全体発表を行った。</p> <p>○第9回検討委員会 10月30日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①適正化に向けた現状と課題について</li> <li>②矢島小改築計画について</li> <li>③今後の進め方について</li> </ul> <p>※その他、グループ討議、全体発表を行った。</p> <p>○第10回検討委員会 1月15日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①石沢地区学校環境に関するアンケートについて</li> <li>②本荘地域学校環境を考えるつどいについて</li> <li>③矢島地域学校環境を考えるつどいについて</li> <li>④「学校環境適正化策定計画」作成までの流れについて</li> <li>⑤第一次提言に向けて</li> </ul> <p>○第11回検討委員会 2月9日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①矢島地域学校環境を考えるつどいについて</li> <li>②石沢地域学校環境を考えるつどいについて</li> <li>③「第一提言書」(案)について</li> </ul> <p>○第12回検討委員会 3月2日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①石沢小学校保護者からの意見について</li> <li>②「第一次提言」(最終案)について</li> </ul> <p>○第一提言書提出 3月26日(月) 松本真一委員長より佐々田教育長へ</p>		

点検・評価対象事業名：学校環境適正化検討委員会

点検評価 及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
<p>○昨年度の保護者アンケートの結果や児童数の推移などを適宜報告しながら、主に本荘地域の適正な学校環境のあり方について市民とともに考える機会をもつため、上記の検討委員会以外に、各地域や学区単位に「学校環境を考えるつどい」を開催し、広く市民から意見いただくことができた。</p> <p>○検討委員会では、アンケート結果や「考えるつどい」で話し合われた市民の意見を集約・分析・研究・協議し、「一中学校区 1 小学校 1 小学校」を将来的目標とした「第一次提言」をまとめ、計画通り年度末（3月26日）、委員長より佐々田教育長へ提出され、その任務を果たして頂いた。</p>		
<b>今後の課題及び 改善策・方向性</b>	<p>○「第一次提言」の内容をすみやかに市民に報告しながら、最新の児童数の推移や学校施設の現状について共通認識を図り、さらなる意見集約をしながら、より具体的な内容の「第二次提言」をまとめる。</p>	
<b>学識経験者の意見</b>	<p>○29年度12回に及び検討委員会や、各小学校区や地域で「考える集い」を開催するなど、地域住民の意見を踏まえて行った提言を高く評価したい。引き続き協議検討を進めていただきたい。</p> <p>○学校統合が進み、大内を除く各地域に小学校が一校となった。今後益々児童の減少が続くと思われる。将来を見据えた計画を立案して進めていただきたい。その際、通学距離など、様々な面に配慮して策定して頂きたい。</p>	

		<b>分野</b>	教育環境整備部門
<b>項目</b>	(2) 学校施設の整備	<b>担当課</b>	教育総務課
<b>点検・評価対象事業名</b>	①由利中学校大規模改修事業		
<b>事業の目的</b>	○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築30年以上経過した老朽化の進む校舎等の大規模改修を行い、学校環境の整備に努める。		
<b>事業の実施状況</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <b>実績：</b> 平成26年度：大内中学校          平成27年度：大内小学校          平成28年度：西目中学校          (H29へ繰越)       </div> <p>○由利中学校大規模改修事業          平成29年度事業 実施設計          校舎棟、食堂棟、屋内体育館の空調設備更新・トイレ洋式化等</p> <p>・由利中学校大規模改修事業実施設計業務委託 H29.9.1～H30.3.16 3,218,400円  <b>【学校施設環境改善交付金事業】</b></p>		
<b>点検評価及び説明</b>	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	○実施設計業務は予定どおり年度内に完了した。		
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>	○平成30年度：由利中学校大規模改修工事（H30年11月完成） ○引き続き、児童生徒の安全安心を第一に、学校環境の整備に努める。 ○老朽化の進んでいる学校は他にも複数あり、改築・改修を計画的に実施する。		
<b>学識経験者の意見</b>	○この校舎以外にも、市内には老朽化の進んでいる校舎が複数ある。計画的に進めて頂きたい。 ○これからも必要に応じて校舎内外の安全点検をしっかりと行い、子どもたちの安全確保に努めて頂きたい。 ○各学校のトイレの洋式化を今後も継続し、計画的に進めて頂きたい。		



		分野	教育環境整備部門
項目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
<b>点検・評価対象事業名</b>	②北部学校給食センター整備事業		
<b>事業の目的</b>	<p>○全国的にも学校給食のセンター化が進められている中、本市においても単独校調理場の老朽化が進んでおり、今後、衛生基準等を満たした環境の中で安全安心な給食調理を実施するため、共同調理場（学校給食センター）を整備するものである。</p>		
<b>事業の実施状況</b>	<p>対象校：新山小学校 鶴舞小学校 岩城小学校 岩谷小学校 大内小学校 本荘北中学校 岩城中学校 大内中学校</p> <p>平成29年度事業 地質調査業務、実施設計業務</p> <p>○北部学校給食センター建設工事 地質調査業務委託 H29.7.21～H29.10.31 1,897,560円</p> <p>○北部学校給食センター建設工事 実施設計業務委託 H29.7.21～H30.5.31 12,960,000円 【学校施設環境改善交付金事業】</p>		
<b>点検評価及び説明</b>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p> <p>○実施設計業務は、当初30年3月末までとしていたが、期間内に行ったボーリング調査の結果、支持層までの深度が場所によって異なることが分かり、再度詳細な調査を実施した。このことから業務委託の期間が平成30年5月末まで延長となったが、調査によって地下構造が判明し、その成果を実施設計に反映させることができた。</p>		
<b>今後の課題及び改善策・方向性</b>	<p>○平成30年度：建設工事Ⅰ期（建築）※H30年11月契約締結 平成31年度：建設工事Ⅱ期（建築・電気・機械）、 平成32年度：建設工事Ⅲ期（電気・機械・厨房機器・外構） 受入校改修工事 ※H32年8月稼働開始予定</p> <p>○施設の運営方法などについて、学校や関係機関との協議が必要である。</p> <p>○今後、学校環境適正化に係る学校整備と合わせた南部地域学校給食センターの整備に向けて検討が必要である。</p>		
<b>学識経験者の意見</b>	<p>○平成32年8月、夏休み明けの稼働が計画どおり進むよう、十分配慮して進めて頂きたい。</p> <p>○学校給食のセンター化は、衛生管理基準を遵守するうえでも必要な事業である。地場産品の活用についても協議検討を重ね、進めて頂きたい。</p>		